

桜山文庫

本学の名誉教授深沢秋男が、国文学者で、鹿島神宮第67代大宮司である鹿島則文のコレクションを、孫の鹿島則幸に昭和59(1984)年9月に一括譲渡を依頼され、昭和61(1986)年9月に第1次の受け渡しが行われ、日本文学関係の資料を購入したことにより、昭和62(1987)年3月に文庫を設立した。

江戸期の写本、刊本を中心に約6,900冊を収蔵している。